

1 チームサイド(ベンチ・グラウンド)/キックオフ/ビブスについて

- 1 チームサイド(ベンチ/グラウンド)は、対戦表の左側チームが、メインスタンドからコートを見て左側。
- 2 試合開始時のキックオフは、対戦表の左側チーム。
- 3 ビブスは、1番から順に着用すること。

2 プレーの方法

- 1 前半開始はハーフウェイライン中央からのフリーパスで行います。後半開始のフリーパスは前半開始のフリーパスを行わなかったチームが行います。
- 2 試合中、二本のタグを左右の腰に1本ずつ付け、自分の足で地面に立っているプレーヤーは、競技規則に反しない限り自由にプレーすることができます。

3 アドバンテージ

反則が起きても、レフリーが「反則をしなかった側が有利に試合を進めている」と判断した場合、プレーを続ける場合があります。

4 得点[トライ]とその後の再開

- 1 左右の腰に1本ずつのタグを着け、自立しているプレーヤーが相手インゴール(ゴールラインを含む)にボールを着けると1点が得られます(「トライ」といいます)。
※:岩手県大会では駆け抜けルールを採用
- 2 レフリーは、防御側の反則行為がなければトライが得られた、と判断した場合、トライ(「パネルティトライ」)を与えます。
- 3 トライ後の再開はハーフウェイライン中央からトライをとられたチームのフリーパスで行います。
- 4 次の場合、トライは認められません。これらの場合、ボール保持側の5mフリーパスで試合を再開します(タグの回数は継続します)。
 - ①ボールをインゴールに着けたときに両足がインゴールに入っていなかった。
 - ②インゴールでタグを取られた後、ボールを相手インゴールに着けた。[補足] このフリーパスはインゴールにボールを持ち込んだプレーヤーがパスをすることで始まります。

5 タグ

防御側プレーヤーがボールを持っているプレーヤーのどちらかのタグを取り、それを頭上にあげて「タグ」と叫んだら、タグの成立です。

- 1 タグが起きたら、プレーヤーは次のことをしましょう。
 - ①タグを取られたプレーヤーは直ちに前進を止め、ボールをパスします。

②タグを取ったプレイヤーはタグを相手に手渡して返します。タグを取られたプレイヤーは、すみやかに相手からタグを受け取り、タグを腰に着けます。

- 2 防御側がタグを4回取ったら攻守交代です。4回目のタグがあった地点でのフリーパスから試合を再開します。
- 3 タッチライン上またはタッチラインの外にいるプレイヤーも相手プレイヤーのタグを取れません。

6 オフサイド(反則)

タグが起きると、タグを取られたプレイヤーがボールを離れた地点を基準として、ゴールラインに平行なオフサイドラインができます。

- 1 オフサイドラインの前方にいる防御側のプレイヤーは速やかにオフサイドラインの後方に下がります。
- 2 下がりきれない防御側プレイヤーはボールを持った側のプレイヤーがパスをしたり走ったりするのを妨げないようにします。

7 ノックオン・スローフォワード(反則)

- 1 プレイヤーがボールを受け損ねたり、ボールが腕や手に当たったりして、ボールが前に進むことを「ノックオン」といいます。
- 2 プレイヤーがボールを前に投げる、あるいは前にパスすることを「スローフォワード」といいます。

8 フリーパス

「フリーパス」とはボールを持ったプレイヤーがその位置から動かずに、レフリーの合図で、自分より後方の2m以内にいるプレイヤーにパスをすることです。

- 1 フリーパスは、前後半の開始、トライの後、6・7の反則があったとき、その他ルールで定められているときに行われます。
- 2 フリーパスのとき、防御側のプレイヤーは、すみやかにフリーパスの地点から5m下がります。ボールがパスされれば、前に出てもかまいません。
- 3 インゴール及びゴールラインから5m以内のフィールドオブプレーではフリーパスは行われません。この地域でフリーパスは、反則等があった地点に近い、ゴールライン前5mの地点から行います(「5m フリーパス」といいます)。

9 タッチ

ボールを持ったプレイヤーがタッチラインを踏んだり超えたりした場合、また、投げたボールがタッチラインに触れたり超えたりした場合は「タッチ」となります。再開はタッチになった地点から相手側のフリーパスで行います。ボールはタッチラインの外にいる、またはタッチライン上のプレイヤーが投げ

入れます。

10 インゴール、タッチインゴール

- 1 ボールを持ったプレーヤー及びボールが、タッチインゴール及びデッドボールラインに触れた、または超えた場合、その直前にボールを保持していなかった側の5mフリーパスで試合を再開します。
- 2 プレーヤーが自チームのインゴールにボールを着けた場合、相手側の5mフリーパスで再開します。

11 禁止事項

試合中、プレーヤーは以下の行為をしてはなりません。これらが起きた場合、その地点で相手チームにフリーパスが与えられます。

- 1 相手選手と接触・衝突すること。接触・衝突につながる行為をすること。
- 2 タグを取る以外の方法で相手の攻撃を止めること。
- 3 相手をかかわす以外の方法で、相手がタグを取るのを邪魔すること。
- 4 その他、タグを投げ捨てたり、相手に文句を言ったりなど、周囲の人たちを嫌な気持ちにさせる全ての行為。

12 その他

競技規則にない状況が起きた場合、レフリーは試合停止を命じ、停止直前にボールを保持していた側のフリーパスで再開します。その時、タグの回数は継続します。